



# 8月 園だより

令和5年8月1日  
社会福祉法人 和福社会  
庄なかよし小規模保育園

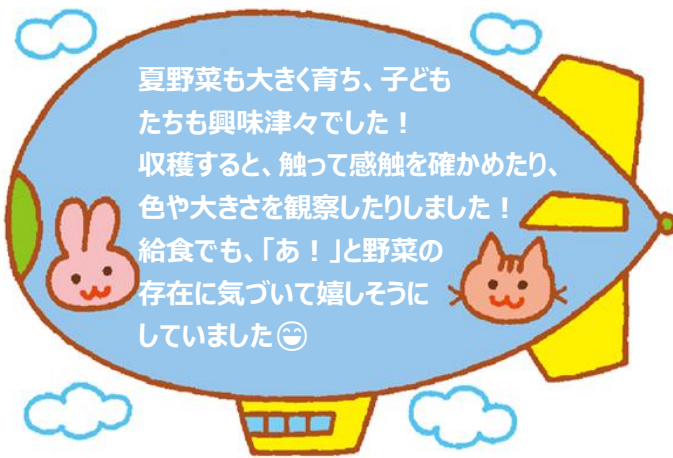


## 今月の目標

### こまめな水分補給を心がけましょう

冷たい物の取りすぎは、胃腸の調子が悪くなる原因になります。冷えすぎていないお茶などで、こまめな水分補給をこころがけましょう。

今年度は8月8日が立秋です。まだじりじりと暑い日が続きますが、雲の変化や園庭で見る草花や虫の中に、少しずつ秋の訪れも感じる時季となります。天気の良い日には、しっかりと水遊びや夏ならではの遊びを楽しみたいと思います。暑い夏を乗り切るために、規則正しい生活、こまめな水分補給を行いましょう。



夏野菜も大きく育ち、子どもたちも興味津々でした！  
収穫すると、触って感触を確かめたり、色や大きさを観察したりしました！  
給食でも、「あ！」と野菜の存在に気づいて嬉しそうにしていました😊



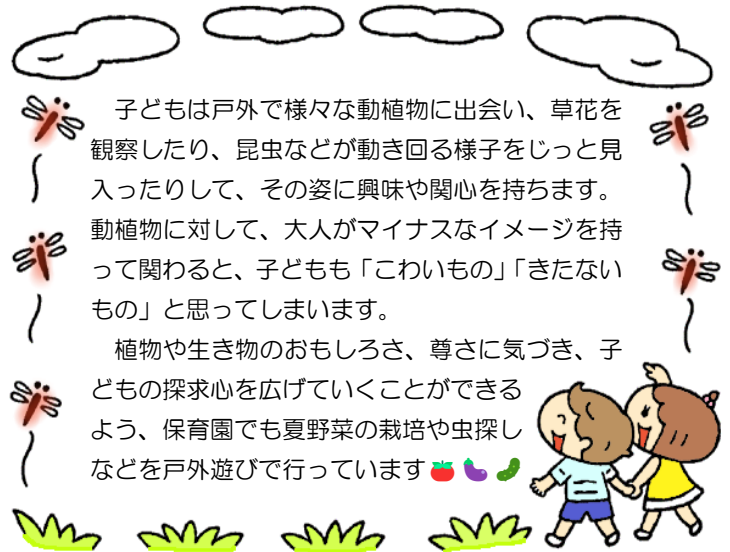
### 「悔しい！」という気持ちの育ち

0歳の間は、いろいろなものに興味を示し、見たり聞いたりという感覚や「うれしい」「いや」などの感情が芽生える時期です。

1～3歳にかけて身の回りのことをしてみよう！という気持ちが育ち、同時にできないときに、泣いて気持ちをぶつけることがあります。イヤイヤ期とも重なります。

周りの大人が、ありのままを受け入れてくれるという安心感があると、自分を表現することができるようになります。また、「自分でできた！」と思えるような手助けをすることで、「次もやってみよう！」と思うようになっていきます。

子どもに対しての怒りは、理想と現実のギャップで引き起こされるといわれます。子どもの行動に対して、ここまではOKという「許せるゾーン」を広くとり、感情でそのゾーンを替えないようにすることがポイントです。

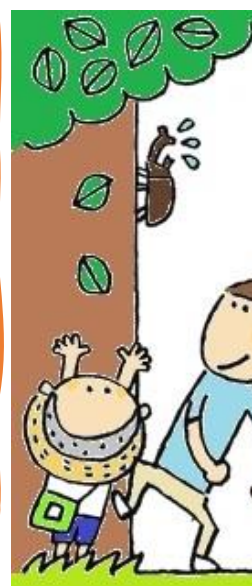


子どもは戸外で様々な動植物に出会い、草花を観察したり、昆虫などが動き回る様子をじっと見入ったりして、その姿に興味や関心を持ちます。動植物に対して、大人がマイナスなイメージを持って関わると、子どもも「かわいいもの」「きたないもの」と思ってしまいます。

植物や生き物のおもしろさ、尊さに気づき、子どもの探求心を広げていくことができるよう、保育園でも夏野菜の栽培や虫探しなどを戸外遊びで行っています🍅🍆🥒

## 豆知識

夏かぜとは、プール熱・ヘルパンギーナ・手足口病などのことをいいます。うがい・手洗いをしっかりと、部屋の湿度・温度に気をつけ。クーラーで体が冷えすぎないようにするなど、かぜの予防を心がけましょう。もしかかってしまったら、たっぷりと睡眠を取り、栄養のある食事や水分をしっかりとるようにしましょう。



- 8日(火) 絵本の読み聞かせ
- 18日(火) 夏祭り
- 21日(月) 食育の日  
身体計測
- 22日(火) 避難訓練
- 31日(木) 水遊び納め

※毎週水曜日に、うさぎ組は庄保育園との交流会を予定しています。